

理研会報

理科作品展講評

工夫工作の部

間野台小 福田健

工夫工作の作品として、各部会の審査を経て郡展に持ち寄り、及ぶ迄の内、入賞した点数は、次の通りである。

計	学年									
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	
4					1	2	1			1
3					1	1				1
3								3		3
1							1			4
9	1	1	2			1	1	1	2	5
20	1	1	2	2	3	2	2	4	3	計

小学校の作品を見ると、以前に比べ工作の目的に、素材の選択がなされてきて、工作が、か

りしてきていること、動くおもちゃ的な素材が作品が多くなっていることが目立っている。しかし、本やテレビからの借り物アイデアによる単なる工作におわっている作品が多

く中には、複数部会、複数学年から類似の作品が出品されていく例もあつた。また、生活上の必要が生きてきた作品に乏しく、足の

も一つの側面である。身の回りが便利になりすぎていて、不用品に削減されていることが少なく、足

めである。しかし、全国展では、このミャンルの入賞数は多いので、今後の課題として取り

組みたいものである。

名作を表彰しよう。作品を見て、ねらうや時節のすぐ理解でき

るような名称を工夫することも大切である。あわせて、説明も

かり工夫のポイントをつかんでおきたいものである。

一方、中学校の作品は、点数が少なくて、さびしい感もあつたが、

アイデアに富んだものがあつた。質が高かつた。しかし、点数が少

校に集中する傾向が認められ、担当者の力量や姿勢が、作品の質に反映していることを強く感じさせられた。

小中学校とも、印番の工夫工作の水準は、以前に比し高いと言えない。各校での奮起を望みたい。



論文の部

田村小 安井寅藏

論文の部では、提出品点数三〇点(小中各一五点)の中から、まず第一審査で二〇点を選び、更に第二審査で多面的な視点から

選出された作品として一二点(小八点、中四点)を入賞作品として決定しました。

本年度作品の全体的傾向として、小中とも甲乙つけがたい優秀な作品が数多く出たこと、審査

あつたこと、それだけに、審査委員の先生方も入賞作品の決定に大変苦しみました。各部会研究部諸先生方の指導、大変感謝して

お礼申し上げます。

次に、各点について、研究の姿勢が、思いつきの発想ではなく、教科書習得の、生活の発展として問題を見出し

研究にのりこんでいることがあつたこと、この点で、中

校にこの傾向が顕著でした。データ処理がかなりよくなつた

こと、特にグラフの活用が、その工夫がよくなつて

いまして、以上、主な傾向と長が、各点を記しましたが、更に本年度より作品を期待する意味から、本年度の反省を加えながら、努力点の善点を記します。

小中各二作品の規格を守つて下さい。四切画用紙最大で規格が制限されてい

たので、各部会に当初の段階で共通理解とどの程度をお願いたします。全体で二

割弱の規格外の作品があつた。二研究論文の型、パターン、形態を整えて下さい。

記録は細かく記していますが、残念なこと、記録のみであつて、この作品が、この目的に

つたこと、研究の動機、結論が導き出されていなければ惜しま

れずして、三継続研究(二年)の大作も望めます。二、三頁に収められ

る植物の見分け方、二、三頁に収められ、二、三頁に収められ

る植物の見分け方、二、三頁に収められ、二、三頁に収められ

る植物の見分け方、二、三頁に収められ、二、三頁に収められ

る植物の見分け方、二、三頁に収められ、二、三頁に収められ

る植物の見分け方、二、三頁に収められ、二、三頁に収められ

標本の部 田村小 佐藤 九広

今年度の標本の部の出品点数は、二十九点で、そのうち約半数近くが植物標本で、約三割が昆虫標本

で、残りの二割が鳥、化石、岩石などの標本であつた。審査をして

みて、昆虫標本では、種類が大変多く、処理も、かなりしている。作品もみれば、採集地が記入

していないが、それではラベルの未整備の作品もあつた。もちろん

処理してはいない。また、クマ類、鹿、野鳥は、採集地が記入

されていないが、それではラベルの未整備の作品もあつた。もちろん

処理してはいない。また、クマ類、鹿、野鳥は、採集地が記入

されていないが、それではラベルの未整備の作品もあつた。もちろん

処理してはいない。また、クマ類、鹿、野鳥は、採集地が記入

されていないが、それではラベルの未整備の作品もあつた。もちろん

処理してはいない。また、クマ類、鹿、野鳥は、採集地が記入



鳥、化石、岩石などの標本について、足元単に数多く集めること、比較的少なく、比較的少ない、焦点化して集めることも必要である。その意味では、ある地域に大

昔見られたものと、現在見られるものを比較しながら集められた作品が見られたことは好ましい傾向と言え

る。全般的に、標本を作ろうとするならば、漠然とした集め方を避けるべきであらう。また、ラベルの表示の仕方についても、少なくとも

「名前」「採集地」「採集年月日」等は、必ず記しておくべきであらう。

また、作品名に「植物採集」と書かれているものが見られるが、これは、「植物標本」と書くべきであらう。

今回、中学校作品が少なかったが、小学校に負けず、中学校らしい力作が望まれるところである。

科展論文や工夫工作部門でなく、標本作りにあつても、これから、強い目的意識と、それによって、工夫やアイデアを加えることにより、よりよい作品が生ま

れるであろう。

また、作品名に「植物採集」と書かれているものが見られるが、これは、「植物標本」と書くべきであらう。

今回、中学校作品が少なかったが、小学校に負けず、中学校らしい力作が望まれるところである。

科展論文や工夫工作部門でなく、標本作りにあつても、これから、強い目的意識と、それによって、工夫やアイデアを加えることにより、よりよい作品が生ま

れるであろう。

